

《アンサンブル・クレセントとシリーズ演奏会》

「アンサンブル・クレセント」は札幌在住の弦楽器奏者による演奏集団です。室内楽芸術を皆さんと共有する活動を志とします。J.S. バッハのゴルトベルク弦楽三重奏版全曲演奏を目標に 2022 年7月に結成しました。

更には、知られざる名曲の発掘と紹介にフォーカスしたプログラムに取り組もうとしています。

メンバーは、ヴァイオリン・森本千絵、森由紀子、ヴィオラ・猿渡美穂子、チェロ・山田慶一。

ゴルトベルク全曲演奏とイギリス人作曲家の弦楽四重奏作品の紹介もする欲張りなシリーズをお届け致します。

シリーズのコンサートは全部で6回。既に昨年3回開催(第Ⅰ期)完了し皆様にご好評頂き、良い調子で今年の後半3回(第Ⅱ期)へ意欲を燃やしています！クラヴィーア演奏とはひと味違う弦楽三重奏の響きでのゴルトベルクをアンサンブルの醍醐味とともにお届けします。また併せてイギリス作曲家の室内楽作品を紹介。

全く異なる切り口のような欲張ったシリーズに思えますが、バッハのクラヴィーア作品が後世に与えた芸術性の連鎖、影響など時代の流れ、歴史や文化の変遷などにも興味を広げながら、皆さんと音楽の意外な繋がりを発見出来れば！と夢見ています。どうぞ私たちと音楽のひと時をお付き合いください！

《メンバー・プロフィール》



●Violin/ヴァイオリン/Chie Morimoto 森本 千絵 (もりもと ちえ)

京都市立芸術大学卒業と同時に(財)名古屋フィルハーモニー交響楽団入団。以後英国留学。イフラ・ニーマンのもと研鑽を積む。英国王立音楽大学演奏家資格取得。名古屋市文化振興事業団新進芸術家助成対象者に選ばれる。これまでの演奏は「音楽の友」など各誌面にて高い評価を得ている。ソリストとしてリサイタル、名フィルなどプロ・オーケストラとの共演、室内楽奏者としても内外での演奏多数。2017年より(英)シェボーン夏期音楽講習会に招聘、後進の指導にあっている。国内では名古屋と札幌を拠点に演奏、後進の指導など活動中。



●Violin/ヴァイオリン/Yukiko Mori 森 由紀子 (もり ゆきこ)

愛知県立明和高校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部器楽科卒業。卒業後渡独。ビュルツブルグ音楽大学、ロストック音楽大学院にて、引き続き研鑽を積む。ニュルンベルグ州立歌劇場に所属。その他ドイツ国内の歌劇場にてオーケストラや室内楽奏者として活動。

現在札幌在住。オーケストラのエキストラや後進の指導にあたる。



●Viola/ヴィオラ/Mihoko Saruwatari 猿渡 美穂子(さるわたり みほこ)

東京音楽大学器楽科ヴァイオリン卒業後、ドイツ・ハンブルグへ留学。International College of Music, Hamburg において Master of performance を卒業。ヨーロッパ各地でマスタークラス受講、演奏会出演。

帰国後、札幌新人演奏会出演。札幌市民芸術祭奨励賞受賞。2017年神戸と札幌で初のヴィオラリサイタルを開催。現在札幌を中心に室内楽やオーケストラで演奏する傍ら、後進の指導にあっている。



●Cello/チェロ/Keiichi Yamada 山田 慶一 (やまだ けいいち)

新潟大学及び国際スズキ・メソッド音楽院を卒業。エマ・フェランド、ジャン・ギアン＝ケラス、ミクローシュ・ペレーニの公開レッスンを受講。これまでにソリストとしてフィリピンフィルハーモニック管弦楽団、札幌交響楽団等と共演する他、A.ピアラン作曲のチェロソナタとピアノ五重奏曲を発掘し日本初演するなど、多方面で活動している。現在スズキ・メソッド、チェロ科指導者、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師を務めている。